

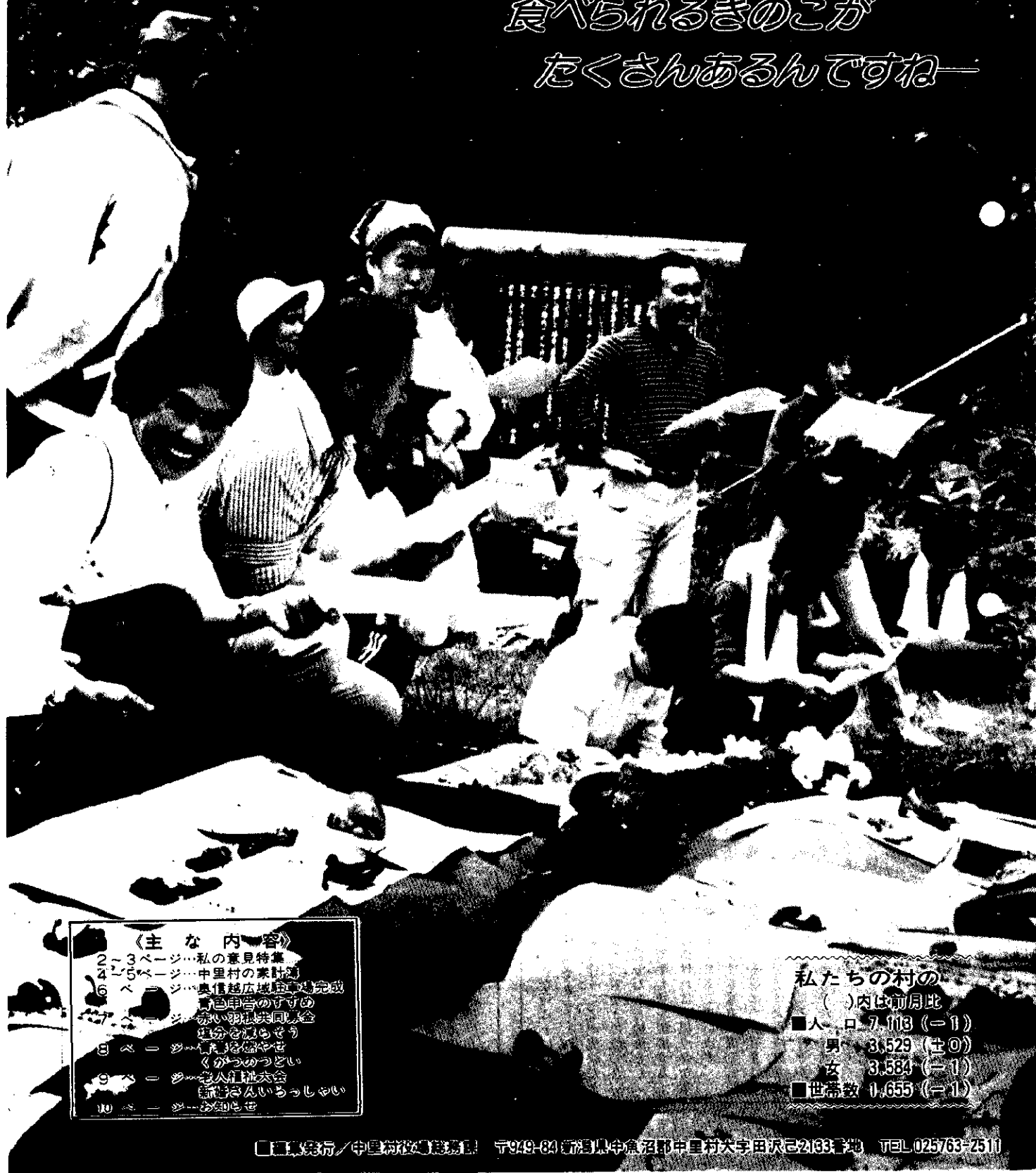
広報 なかそと

毎月10日発行 定価10円

10/10
1982

《No.315号》

食べられるきのこが
たくさんあるんですね



《主な内容》
2ページ…私の意見特集
3ページ…中里村の来訪者
4ページ…奥信越広域消防組合
5ページ…赤い羽根共同募金
6ページ…自分たちの未来
7ページ…お金の使い方
8ページ…くまのつとめ
9ページ…お金の使い方
10ページ…お金の使い方

私たちの村の
()内は前月比
■人口 7,113 (=1)
男 3,529 (=0)
女 3,584 (=1)
■世帯数 1,655 (=1)

〒949-84 新潟県中魚沼郡中里村大字田沢2133番地 TEL 025763-2511

No.315 57.10.10

広報 なかそと

(10)



職員募集のお知らせ
十日町市に建設中の「地域産業振興センター」の職員を次により公募いたします。
■募集する職種と人員
○一般事務及び施設担当職員(男子三名、女子一名)
○事業担当職員(男子二名、女子臨時雇用三名)
■受験資格 十日町市及び中魚沼郡、松代町、松之山町に住所のある人(在学中の学生、生徒は上記の出身者)学校教育法による高等学校以上の卒業若しくは卒業見込者を含む年齢制限があります。
■試験期日
第一次試験 十月二十三日 土曜日
第二次試験 十一月月上旬
■受付期間 九月二十五日～十月十五日(当日消印有効)
■問合せ 財団法人十日町地域産業振興センター事務
○あて先 十日町市役所内まで
〇〇二五七五・七三二二
内線二八二
■県民のみなさんへ
新潟県観光協会と新潟日報社では、上越新幹線開通記念として県民の投票で選ぶ「にいがた景勝一〇〇選」を実施しています。
県内の二〇〇箇所の候補地の中に、①苗場山の小松原温泉、②清津峡と田代七ツ釜が入っています。
九月二十二日の中間発表では、②の清津峡と田代七ツ釜が十三位にのこっています。
みなさんの力で得票を伸ばし、全県的に清津峡、田代の七ツ釜を有名にしたものです。
〇応募期間 十月三十一日まで
〇応募方法 ハガキに推薦したい候補地一箇所とその番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入
〇応募資格 〇応募方法 ハガキに推薦したい候補地一箇所とその番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入
〇応募資格 〇応募方法 ハガキに推薦したい候補地一箇所とその番号、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入

広域消防職員募集
昭和58年4月1日採用の十日町地域広域事務組合消防職員(消防士)を1名募集します。
■受験資格 〇高等学校卒業業者(来年度卒業予定者含む)で昭和55年4月2日以降に生まれた男子。
〇十日町市、川西町、津南町、中里村に居住可能な人。
〇身長、体重、視力などの制限があります。
■試験方法 第一次試験(教養試験・体力診断テスト)、第二次試験(口述試験・身体検査)
★試験日など詳しくは十日町地域消防本部総務課 ☎02575-7-1555へお問い合わせください。

一日～十一月十五日まで
詳しくは魚沼高等職業訓練校まで
(〇二五七九四・二四一〇)
犬や猫の保護センターへ
魚沼動物保護センター
ができました。
狂犬病予防業務をはじめ、飼犬、飼猫の引き取り、野犬の捕獲、放し飼いの犬の取締り及び苦情処理に関することは十月一日から魚沼動物保護管理センター(小出保健所内)で行うことになりました。
★犬の苦情相談
〇苦情受付
十日町保健所(〇二五七五・二四一〇) 環境衛生課
〇苦情処理
魚沼動物保護管理センターの職員が毎週一回各市町村を巡回し、苦情処理と取締りを行います。
★飼犬、飼猫の引き取り
〇受付 役場健康管理室
引取り申請書の配布・記入
〇引取り
毎週 木曜日午前九時～十一時、場所 十日町保健所
〇引取り申請書のないものは受け付けません。
詳しくは、魚沼動物保護管理センター(〇二五七九・二四一〇)まで
危険物取扱者試験
準備講習会のお知らせ
県では十一月十四日(日)に、危険物取扱者試験を実施いたしますが、危険物安全協会では、それに備えた受験準備講習会を、次の要領で開催します。
★期日 十一月一日(月)～二日(火)
★場所 南魚沼高等職業訓練校(塩沢町)
★講習対象 乙種第四類の危険物取扱者試験の受験者
★受講料 危険物協力会員三千円 非協力会員四千五百円
★申し込み期間 受講希望者は、講習日の七日前までに、十日町地域消防本部予防課に申し込んでください。

人生往来
おめでた
きよみ(滝沢 一男)角間
敦志(鈴木 邦俊)重地
知美(樋口 和弘)通り山
境(樋口 寅次)小原
おくりやみ
富井 寅次 59 市之越
樋口 正代 28 通り山
滝沢ノリ子 52 重地
柳 コトエ 71 本屋敷
鈴木 タミ 88 下山
編集後記
台風十八号の影響で清津橋の橋脚が五十センチほど下り全面通行止め状態が約一カ月も続き沿線住民の生活に支障をきたしています。ことに建設業界や運送業界では、大型自動車や松之山経由となるため、従来の三倍以上の時間がかかり事態は深刻です。ふだん気にもとめなかった清津橋が通行止めになって始めて清津橋の重要性がひしひしと感じられます。
今、村民の中では「新清津橋の早期着工と広域農道に伴う清津橋上流の橋の新設・重地・小出線の早期開通」への関心が高まっています。
なお、現在、進められている仮橋建設の工事は、十月いっぱいから予定です。村民総意で、新清津橋の早期着工を進めましょう。



逆転の発想

倉 俣

島田 東 一さん

先般催された「浅草三社みこし」の会員として数多くの人々と接し、今後の中里村の開発、これからの中里村のあり方についていろいろ意見交換をいたした。非常に参考になりました。逆転の発想。この言葉も東京の人たちの会話の中から生まれた。

今までは中里村に「無いもの」「悪たもの」の対応でした。過去、現在でも他に追いつけ、追い越せで数多くの事業が成されて、その実績は評価されるに値するでしょう。段丘地開発に山麓開発、道路整備に園地整備、教育施設に老人施設、各集落に集落センターも整備して見違えるほどの中里村になりました。にもかかわらず人口が減り戸数が減って依然として過疎の村です。

今までは前進的な発想の中で開発が成されてきたが、今度は、今おかれている立場、立地条件を今一度振り返って見、逆転の発想の中から対応してはどうか。

私の意見

わが村の人口は、昭和三十一年の合併当時九千八百六十三ありましたが、現在では七千四百四十二(二八%減)に減少しています。最近の十年間では、毎年三十人くらいずつ減少しています。

新幹線の開通、関越自動車道の開通をまじかに控え、中里村が、中魚沼、東頸城、北長野地方の玄関口として発展する大きなチャンスです。しかし、これも村民と行政



皆の気持ちを一つに

が一体となって努力していかなくてはならないものではあります。最近、村の中にも「二十一世紀準備会」や先般大成功を収めた三社みこしの「浅草三社みこし」を呼ぶ会など、明るい村づくりを目指す気運が高まっています。

他の町村の村づくりを見ますと、高柳町のふるさと村づくり、入広瀬村の学生村・湯ノ谷村・小出町の都市と提



連帯を深めよう

に工場誘致などを過疎対策として行おうではなく、この中里村にしかない恵まれた自然や、今までマイナスに思われたものをプラスにしていくような村づくりを考えていく必要があると東京の人から意見が出されました。

貝野地区の観光と発展

本屋敷

中島 久助さん

中里村の産業と観光開発については、いろいろ検討されていますので、貝野地区について一考してみよう。

貝野地区は大河信濃川を前にし、城山を中心とした森林地帯を背にする自然に恵まれた盆地に位置し、良質農産物の産地である。

貝野地区に観光資源を求めると、まず城山遺跡の開発と展望台等の山岳観光施設

工場誘致一つとってみても、この雪深い中里村に進出してくれる企業はなかなかありません。また、観光開発といっても一二年でできるものはありません。十年二十年先の視野に立つて村づくりをすすめていく必要があります。

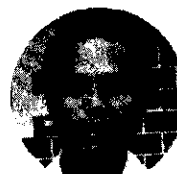
最近「都会から若者のユースター」が多く来ています。今こそ中里村民が一体となって住みやすい村づくりに努力する時ではないでしょうか。

今回は、村内の六人の方にそれぞれの課題について自分の意見を述べていただきました。みんなで中里村の将来を考えましょう。

進展は激しく、こうした夢の開発もそう遠くないように思われる。

現在、貝野地区には、美容院も理容院もなく、山崎十日町方面に出るしかありませんが、交通の便に左右されず、中里中心街に出る道路を早急に整備し、路線バスを通行可能にし、村の中心地との連絡を密にすることが貝野地区の発展、ひいては中里村の伸張に通ずる一つの道であると強調したい。

道路整備について、関係業者の協力と村当局のご努力を切望します。



スポーツでいい汗かこう

辛 沢

大島康太郎さん

中里村体育協会は、村の体育スポーツ推進を図るため、今から二十年前に設置されました。現在、私たち諸先輩の意志を継いで、会員一同、スポーツの普及に力を入れています。

現在、体育協会に所属している団体は、野球、テニス、剣道、空手、バレーボール、バスケットボール、卓球、スキーの八つです。また、村に



くつろげる家庭

朴木沢新田

古高 コトさん

一口に農家と申ししても、各々が、その形態によって違いがあると思います。

高度経済成長の中で谷間に落ちた農業であつても、それに誇りをもって働いてきた人が何人いるでしょうか。自分たちは、宿命として仕方なしにやってきたのが実情ではないでしょうか。

こんな気持ちで農業に携わってきたのですから当然、息子が



農業の振興

小 出

藤ノ木忠一さん

自然の中で大地といっしょになってできる農業は、とてもやりがいのある仕事です。

しかし、現実の中里村の農業を見ますと大変苦しいのが実情です。米作は、転作に追われ、米づくりに対しての意欲が減退し、収益が減少しています。ユリやスズランなどの花卉栽培についても、転作の影響で栽培面積が増加し、価格が低迷しています。



水、そして自然

山 崎

上村 忠男さん

川岸にたたずんで流れをみつめている時の私は、不思議なもの、としか言いようのない水もこの水が無かったらすべての生物は地球上に存在できなかった訳ですから、水の恩恵は計り知れないものがあります。地上に住む虫、鳥、人間も含めた動物、そして植物みんな生涯直接的な水との係わりの中で生きています。水、そして自然。地球上に暮らすすべての生物が、この水に恵まれていることを、人間も忘れてはいけません。

今後の課題として、青年、婦人を対象にした、各種大会などを開催し、クラブの組織化を図りたいと思います。

また、豪雪地という暗いイメージから脱却して、雪を利用できるスキーを普及し、ジュニアスキークラブを作り、スキー技術の向上と青少年の健全育成を図りたいと考えています。

毎年「村民総スポーツ」のスローガンを掲げて行われている村民体育祭により多くの人たちの参加を望みます。

最後に、村民体育館などの体育施設の充実を希望いたします。

ければならないことは、若い人が喜んで来てくれるような家庭を作ることが先決だと思います。若手との話し合いにより自分たちも勉強をし、また、若手も親を理解するよう心掛ければ、和やかな家庭が生まれると思います。

「いつでも素直に謙る気持ち」を心掛ける親に、「若者の希望や考えを受け入れ協力する親」お互いにあまり干渉しない、それぞれの夫婦のあり方を大切にして心からくつろげる家庭を築いていくことを目標に、どの子も幸せな人生を送るよう、真剣に取り組んで見ようではありませんか。

で採算がとれず農業の難しさを痛感しました。

農業は、天候に非常に左右されます。先般の台風十号では、ダイコンやキャベツの葉が吹き飛ばされるなど大変な痛手をこうむりました。また天候が良くも豊作であつても、どうしても良い物が大量に取れるため価格が下がり豊作貧乏に襲われることが多くあります。中里村の発展を考えると、農業の振興をなくしては考えられません。野菜やその他の作物の価格安定制度などを導入し若者が安心して農業をしていけるような施策をぜひ、お願いします。

いる事については同じ事。人間が自分たちの都合だけで他の生物が住めない状態を造れる権利などあるはずは無いと思う。中里村は昔から比較的にきれいな水が豊富だったためにその恵みになれ過ぎてその大切さを忘れていないだろうか。

自然は複雑にして巧妙なメカニズムだと言われますが、これを破壊すれば二度と回復しないはず。人の造る事の出来ない水だからこの水の恩恵を受けるすべての生物と共に幾世代も暮らせる様の方策を考えてこそ、人間は万物の霊長だと言えると思います。

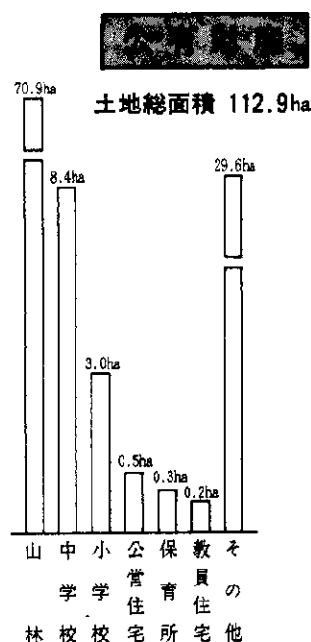
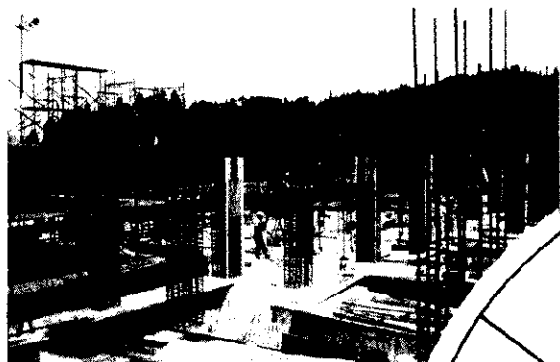
おもな使いみち

民生費	
老人医療費及び助成費	62,513
保育所運営費	81,391
衛生費	
津南地域衛生施設組合負担金	38,058
農林水産業費	
農業基盤整備事業	74,354
農村地域定住対策事業	106,909
新農業構造改善事業	11,609
林道整備事業	38,457
森林総合整備事業	30,568
新林構促進対策実験事業	24,384
商工費	
商工振興費	15,158
観光費	4,485
土木費	
道路維持費	25,386
道路新設改良費	158,433
雪害対策費	72,414
消防費	
十日町広域消防負担金	62,500
教育費	
清津峡小学校屋体建築工事	108,450
貝野中学校屋体建築工事	102,924
統合中学校敷地取得造成工事	234,728
災害復旧費	
農林施設災害復旧工事	81,509
土木施設災害復旧工事	8,704

基金

財政調整基金	138,000千円
教育施設基金	261,500千円
土地開発基金	50,000千円

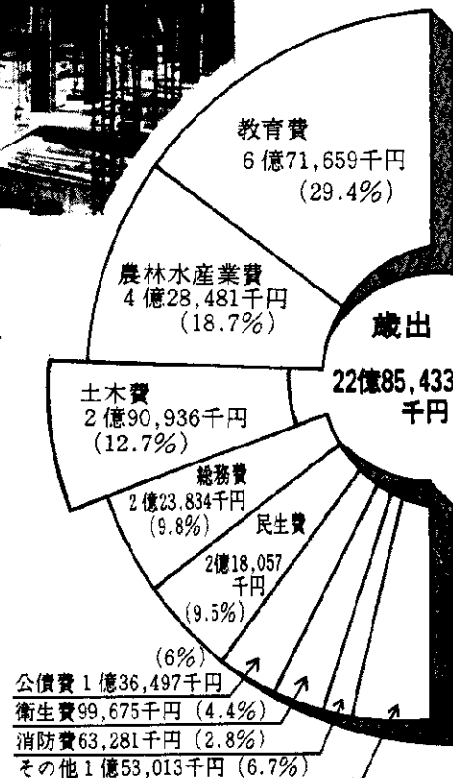
い る 明



特別会計

養魚センター
簡易水道
農業共済
診療所
国民健康保険

歳入	14,988千円
歳出	37,889千円
歳入	60,046千円
歳出	1億19,833千円
歳入	4億21,277千円



明日をめざして

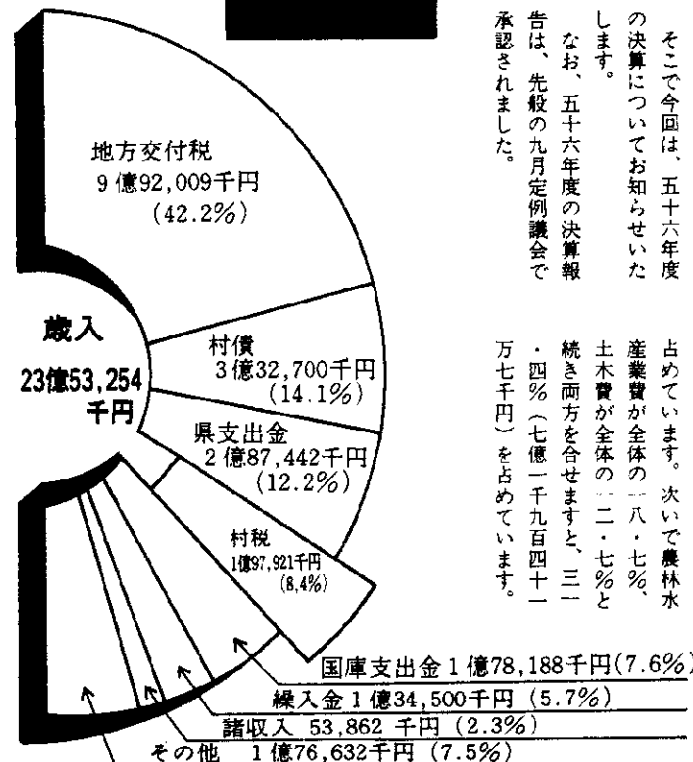
昭和56年度 村の家計簿



おれがほったんだぞー

予算と決算は、村づくりをすすめていく上で欠くことのできない重要なものです。なかでも決算は、一年間という長いコースを走ってきた村づくりの記録でもあります。そこで今回は、五十六年度の決算についてお知らせいたします。

なお、五十六年度の決算報告は、先般の九月定例会議で承認されました。



★歳入
総収入の約半分を占める地方交付税は、国が国税の一定割合を市町村の財政事情によって配分するものです。国庫支出金、県支出金は、村が事業を行う場合に、国や県が負担金や補助金の名目で事業費の一部を助成するもので両方合すると一九・九%(四億六千五百六十三万円)を占めています。

★歳出
歳出の中で一番多いのが、中学校統合をかかえた教育費で、総支出金の二九・四%(六億七千六百五十九万円)を占めています。次いで農林水産業費が全体の二・七%と続き、両方を合すると、三二・四%(七億一千九百四十一万七千円)を占めています。

村債の状況

土木費 5億25,711千円

教育費 2億69,911千円

農林水産業費 2億32,306千円

民生費 1億04,897千円

災害復旧費 43,432千円

総務費 18,989千円

その他 19,873千円

合計12億15,119千円

村税の状況

その他 4,379千円

電気税 10,258千円

たばこ消費税 22,712千円

村民税 74,334千円

固定資産税 86,238千円

村民一人当たり負担額



村民税	10,495円
固定資産税	12,175円
村たばこ消費税	3,207円
電気ガス税	1,448円
その他	618円

一世帯当たり負担額



村民税	45,243円
固定資産税	52,488円
村たばこ消費税	13,823円
電気ガス税	6,243円
その他	2,665円

村民一人に使われるお金

総務費



31,602円

交通安全、雪害対策、庁舎管理、広報、選挙

土木費



41,075円

道路、橋梁、除雪、河川住宅

農林水産業費



60,494円

農業振興、畜産、苗場山麓開発、林業水産、国調

教育費



94,827円

小学校・中学校 社会教育 保健体育、学校給食

民生費



30,786円

老人、児童福祉、生活保護、保育所、国民年金

衛生費



14,072円

保健衛生、公害対策、公園管理、環境衛生、清掃費

消防費



8,934円

消防、防災、水防、広域事務組合

商工費



2,822円

商工業振興、観光、消費者行政、工場誘致



新婚さん いじやい

上 山
浦井 誠一さん
紀子さん

誠一さんと紀子さんの交際
は、誠一さんの突然の訪問か
ら始まりました。ねほけまな
この紀子さんの眼に、さっそ
うとしたバイク姿の誠一さん
がとて新鮮に写ったそうデ
ス。

紀子さんは、松代出身の婿
とり娘でしたが、誠一さんの
ユーモアとバイタリティーに
ひかれ今年の五月に結婚しま
した。

新婚旅行は、大好きな車で
姫路周辺千七百キロを吹っ飛

ばして来たそうです。
中里村の印象は「松代町に比
べると活気があってハイカラ
な村だ」と思いました。来年の
一月には二世が誕生するそう
で「子どもは男二人、女二人
の四人欲しいです。兄弟、姉
妹どうし話しあえるように」
雪の利用方法にいいアイデ
アがありませんか。「冬場
は駐車場に困るでしょう。川
とか田んぼを利用して駐車場
を作ったらどうでしょうか」
どんな家庭を「平凡になる
けど、いつも若々しい明るい
家庭」と終始笑いの絶えない
あまーい二人でした。

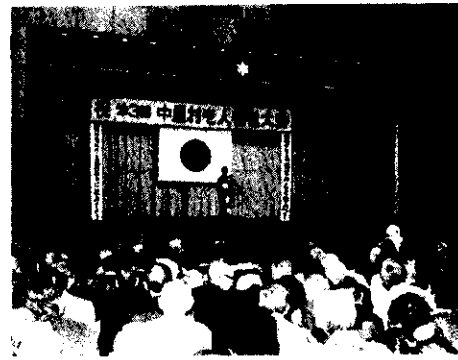
健康で長生きを 第3回 中里村老人福祉大会

これまで永年
社会に貢献して
こられたお年寄
を敬愛し、長寿
を祝おうと第三
回中里村老人福
祉大会が、去る
九月十五日に行
われ、村内に住
む七十歳以上の
お年寄り四百五
十名が出席され
ました。

式典のはじめ
に、村長から「今
までのご苦労に
対し敬意を表す
とともに、こ
れからもますます
す、健康に留意

され、長生きをして
ください」とあいさつが
ありつづいて、今年八
十八歳を迎えられた六
十一名、九十歳を迎えら
れた三名、金婚式を
迎えられた夫婦十三組
と九十五歳以上のお年
寄り三名の表彰があり
ました。残念ながら九
十五歳以上の方は、出
席されませんでした。
この後、中里沼郡社会
福祉事務所長、十日町
警察署長、中里沼老人クラブ連
合会長（代理）中里村議会議
長の長寿をお祝いする祝辞が
ありました。

第二部の祝宴では、村内の
婦人会が中心となって、踊り



老いてますますガンバロー



親睦を深めよう

の「同じ中里村に住む若者同
志仲良くやりましょう」との
あいさつでつどいが始まりま
した。

会場の雰囲気は和やかにな
った。この、腹話術などで知ら
れている半間正氏が登場し
得意な腹話術や人間雑音など
の披露と、人生経験豊かな話
しに参加者全員が目を輝かせ
て聞いていました。この他に
も、輪ゴム送り競争やゴム風
船送りなど楽しいゲームが行
われ、会場全体が若者の熱気
でムンムンしていました。

最後のキンドルサービス
の中で、当日意気の合ったフ
ォーリングカップルの二人が
紹介され、皆の温かい祝福を
受けました。

「こういう若者の交流の機
会をどんどん作って欲しい。
とても楽しかった」と参加し
た女の子が話してくれました。

九月十一日、総合センタ
ーで、村内の若者の企画による
「くがつつどい」が行われ
若い男女合せて四一五名が集
まりました。

このつどいは、村内に住む
若者の交流の場を増やそうと、
農業青年が中心となって行っ
たものです。

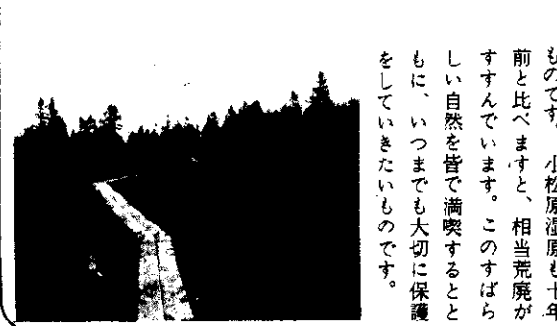
実行委員長（服部彦一さん）

親睦を深めよう くがつつどい



木道敷かれる 小松原 湿原

中里村の尾瀬と
いわれている小松
原湿原に木道が一
四一延に渡ってこ
のほど敷かれまし
た。小松原は、県
の自然環境保全地
域に指定されてお
り、ミズゴケ、ベ
ニササドワダン、
アカミノイヌツゲ
などの高山植物が
密生しています。
しかし、年々、
登山者などにより
湿原の歩道が踏み
荒されてきたため
県で木道を敷く計

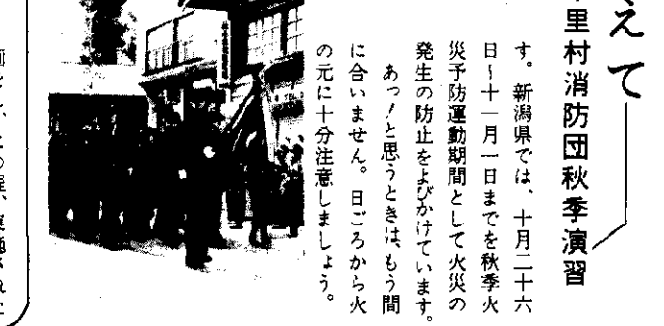


火災に備えて 中里村消防団秋季演習

去る、九月十九日、中里村
消防団秋季演習が田沢中グラ
ンドで行われました。この演
習は、万が一に備え訓練を積ん
でいる消防団の訓練の成果を
見るものです。

今年も、村内の消防団員三
百二十〇名が参加し、機
械器具の点検、ポンプ
操作、仮装演習、分列行
進などを行い盛大のう
ちに終了しました。

毎年この季節になり
ますと、乾燥機やたき
火による出火が増えま



青春を燃やせ 中里村体育指導員を やっておられ、各種の スポーツ活動の推進に 情熱を注いでいる桂の 山本信子さんを紹介します。

桂 山本 信子さん

体育指導員をやっていることは「いろいろ
な体育行事に参加してくれる
人が少ないですね。笛吹けど
人は踊らずといった感じで、
これも私たちの努力が足りない
かと思っていますが、もう少し
感心をもってくれたらなあ
と思います」。中里村に望むこ
とは「体育施設の充実はおも
ろいことですが、人の充実
も図って欲しいですね。社会
体育活動は一人や二人ではで
きないことなので、体育協力
員をやっていることは「いろいろ
な体育行事に参加してくれる
人が少ないですね。笛吹けど
人は踊らずといった感じで、
これも私たちの努力が足りない
かと思っていますが、もう少し
感心をもってくれたらなあ
と思います」。中里村に望むこ
とは「体育施設の充実はおも
ろいことですが、人の充実
も図って欲しいですね。社会
体育活動は一人や二人ではで
きないことなので、体育協力

ま
ず
参
加
を

出稼に行かれる方へ
国保係から

冬期間出稼される方は①
保険証（特別被保険者証）を
発行します。で、行先等をノ
モリ印鑑と家の保険証をもっ
て国保の窓口へ手続きにおい
てください。また出稼先で他
の保険に入る時は、自分だけ
でなく家族もいっしょに入れ
るように入ってください。

◆社会保険に加入されたら
ご家族も加入しましょう。
職場の保険に加入したらす
ぐ役場に届け出てください。
出稼先から帰って来たら届
出る方も見受けられますが届
け出が遅くなると、保険
料や医療費のことで皆さん自
身大変なことがあります。
家族の方に保険証を、保険
は加入したことの証明書を添
えて役場に届け出てください
しょう。

昭和五十七年度
第二回国保試験のお知らせ
〇日時 十二月一日（日）
午後一時から三時四
十分まで
〇場所 六日町
〇願書提出期間
十月十八日（月）～二十一日（木）
午前九時～午後五時
十月二十二日（金）午前九時
～午後三時まで
詳しくは十日町保健所まで
（〇二五七五七二四〇〇）

案内板
出稼される方へ
役場農政課

★出稼手帳の証明は受けまし
たか？
証明は役場一階の受付で行
ないます。必ず証明を受けて
出稼先へ届けてください。
★地方新聞は出稼先へ届いて
いますか？
役場へ出稼先の住所を必ず
届けて行ってください。地方
紙、広報なかつと等を送付し
たします。
★出稼先での懇談会に参加し
ましょう。
来年も上野「法華クラブ」
で二月二十日に開催を予定し
ています。後日通知しますの
で多くの方の参加をお願いし
ます。申し込みは出稼先の前
でも受け付けますので窓口へ
申し出てください。

みんなの ひろば

おもしろい行事などがありまし
たら教えてください。
行・事・予・定
※変更することがあります。
※御用の際は担当課を確認を。

11(月)	休日救急室（水沢診療所 02575-8-2039） 振替休日
12(火)	健康相談日（保健センター9:00～16:00） 婦人バレーボール教室 （倉保中体育館19:30～21:30）
13(水)	婦人バレーボール教室 （清津峡中体育館19:30～21:30）
14(木)	婦人バレーボール教室 （高道山体育館19:30～21:30）
15(金)	心配ごと相談日（老人センター） 婦人バレーボール教室 （貝野中体育館19:30～21:30） 3歳児検診（保健センター13:00～14:00）
16(土)	第12回新潟県登山祭典・苗場山 連絡先 清津山の会 井ノ川 求 ☎2215
17(日)	休日救急室（至誠堂医院 02575-2-3276）
18(月)	健康相談日（保健センター9:00～16:00） 体育協会長杯バレーボールナイターリー グ戦（田沢中体育館19:30～）
19(火)	献血車ゆうあい号 （保健センター前10:00～15:00） 婦人バレーボール教室 （田沢中体育館19:30～21:30）
20(水)	若い母親学級・幼児体操の演技 （総合センター13:30～）
21(木)	土用 合同相談所（行政・人権・労働・心配ごと・ 老人相談）10:00～15:00 老人センター 母親学級（上村病院）12:30～13:00 妊婦検診（上村病院）13:30～14:00 秋の清津峡のすべてをみよう（清津峡・ 第一休憩所付近までのハイキング）役場 開発課まで
22(金)	休日救急室（池田医院 02575-2-2581） 村民バレーボール大会 （田沢中体育館 8:30～）
23(土)	
24(日)	休日救急室（山口医院 02575-2-2174）
25(月)	
26(火)	原子カの日
27(水)	
28(木)	
29(金)	心配ごと・行政相談日（老人センター） 産後検診（保健センター13:00～14:00）
30(土)	
31(日)	休日救急室（山口医院 02575-2-2174）
1(月)	
2(火)	
3(水)	休日救急室（富田医院 02575-2-3269） 文化の日
4(木)	
5(金)	心配ごと相談日（老人センター） 循環器事後指導会（総合センター 8:30～12:00 13:00～16:30）
6(土)	
7(日)	休日救急室（上村病院 2111） 村民バレーボール大会 （田沢中体育館 8:30～）
8(月)	健康相談日（保健センター9:00～16:00）
10(水)	農業青年会、農地相談日（役場農政課）

停電のお知らせ
10月14日午前9時～午後1時
上山の一部・如来寺
表紙写真＝きのこ講習会（セツ鑑）